



つるた ひろひさ
鶴田 洋久

代表理事専務 就任のご挨拶

この度、第49回通常総代会において代表理事専務に就任いたしました鶴田洋久と申します。前職は、小田原市の建築技術職として、市有施設の設計管理や都市計画などのまちづくりの仕事に就いておりました。

森林は、木材や林産物の提供、水源の涵養、土砂災害の防止や洪水の緩和など様々な機能を有しており、森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展が課題となっております。微力ではございますが、これまでの木材を使う側の知識や行政経験を活かし、組合員の皆様に信頼され、地域の方からも愛される組合を目指し、取り組んでまいり所存でございますので、よろしくお願いいたします。



きところ こうすけ
城所 幸祐

新採用職員(令和3年4月採用)の紹介

令和3年4月から小田原市森林組合の職員として採用され1年が経ちました。学生時代はバレーボール、研究室活動、塾講師のアルバイトに力を注いできました。研究対象はウツギの根張りで、毎日根と格闘していました。また、得意科目は数学と生物で、それぞれの面白さについて話すことができます。これまで学習したこと、これから吸収することを活かし、当組合で頑張っていきたいと考えています。夢は樹木医です。よろしくお願いいたします。

趣味 YouTube鑑賞、散歩

参事 退任のご挨拶



おいずみ あきお
小泉 昭男

私は、東日本大震災が発生した平成23年6月から11年間、当組合にお世話になりました。その間様々なことがありましたが、その中で、平成24年から神奈川県の水源地環境保全税にかかる事業の水源地林長期施業受委託事業がスタートし、当該事業にいち早く取り組みました。施業地確保などに当たっては、組合員の皆様方のご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

従前の主たる事業は県や市が発注する森林整備事業の入札工事でしたが、段々と入札が激化していく中で、長期施業受委託事業に取り組んだことにより、その後の組合の運営が安定し、直営作業班の設立や間伐材の搬出用の林業重機の導入など行うことができました。

最後になりますが、今後におきましても、国や県、市などの林業施策に注視するとともに、組合員の皆様方と連携しながら引き続き安定した運営ができるようお力添えをお願いするとともに、小田原市森林組合と組合員の皆様の発展を祈念いたします。

昨年度、組合ニュースの発行ができず、城所技師の紹介が遅れてしまいました。この場を借りてお詫び申し上げます。



令和4年7月10日
発行 小田原市森林組合

〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪300 市役所6F
tel.0465-35-2706 fax.0465-35-2093
mail: odawarashinrin@cyber.ocn.ne.jp



@odawarasi.sinnrinnkumiai



皆様のご意見・ご感想をお待ちしております



第49回通常総代会の報告

小田原市森林組合第49回通常総代会が6月2日、神奈川県西地域県政総合センター3階会議室において開催されました。通常総代会では、初めに高橋茂代表理事副組合長の挨拶があり、続いて足柄地区の石綿敏久氏を議長に選任し、議事録署名人には足柄地区の山口好則氏と石橋地区の中島保彦氏が指名され、第1号議案から第7号議案まで審議の結果、すべて原案どおり可決されました。

また、ご多忙のところご出席をいただきました総代の皆様、誠にありがとうございました。



通常総代会成立報告

総代定数 140名(総代現在数 138名)

出席した総代数 124名(うち本人出席 23名、書面議決書 101名)

【提出議案】

- 第1号議案 令和3年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、付属明細書承認の件
- 第2号議案 令和4年度事業計画書について
- 第3号議案 令和4年度役員報酬について
- 第4号議案 令和4年度借入金の最高限度について
- 第5号議案 令和4年度余裕金預け先について
- 第6号議案 令和4年度造林補助金事務取扱手数料の料率について
- 第7号議案 小田原市森林組合役員改選について

組合員の状況 (令和4年3月31日現在)

① 組合員数 正組合員 534名 准組合員 2名 → 合計 536名

② 出資口数 (出資金額) 296,794口 (29,679,400円)



Topics

- 第49回通常総代会の報告
- 令和3年度事業報告
- イベント情報
- 代表理事専務・職員の紹介
- 参事 退任のご挨拶

役員改選で
次のとおり
選任されました。



- 代表理事組合長 小泉 清隆(足柄)
- 代表理事副組合長 高橋 茂(江之浦)
- 代表理事専務 鶴田 洋久(学識経験者)
- 理事 磯崎 初男(足柄)
秋山 亮(大窪)
大津 嘉久(早川)
小倉 史寛(早川)
大津 利明(石橋)
鈴木 達人(米神)
鈴木 由行(根府川)
鈴木 伸一(根府川)
志澤 誠(東部)
- 代表監事 青木 太成(早川)
- 監事 大山 弥一郎(足柄)

(カッコ内)は選出地区名等です。

令和3年度事業報告

木育授業



指導部門においては、「積極的に木を使うことは、森を守ることにつながる」をキーワードに、小田原市内外の多くの小中学生の木育授業(14件、約800名)を積極的に受け入れたほか、地元の工務店や材木店などと、県産材を新築やリフォームで活用することを目的としたイベントに参加し、横浜や川崎などに住む方へ森の役割や木材の良さをPRしました。

森林整備部門

については、「水源林長期施業受委託事業」に積極的に取り組み、久野地区の字水垂、字釜石、字高尾の3ヵ所で間伐面積は14haで、また、「地域水源林長期施業受委託事業」では、久野地区の字大林で2ha、早川地区の字桜山で11ha、米神地区の字カイルツコで1ha、根府川地区の字竹ノ山で1ha、江之浦地区字ニコシで6haの間伐を行いました。新植は5ha、下刈は延べ15haでした。また、

鹿被害対策として鹿柵を2,968m設置しました。その売上は99,836千円でした。



TOTOCO

加工部門では、間伐材などを積極的に活用し、早川の漁港の駅TOTOCOに6人掛けのベンチを6基納入しました。また木工団地フェスティバルにも参加し、ベンチ、まな板等を販売しました。その売上は505千円でした。

販売部門

においては、間伐材搬出促進事業による補助金等を利用して、一般用材1,231㎡、合板用材778㎡、パルプ等その他310㎡合計2,319㎡を生産いたしました。売上げの一部を所有者へ還元いたしました。



利用事業については、「水源林長期施業受委託事業の確保業務(立会、測量、調査、契約等)」が、久野地区で4箇所約31haを、「地域水源林長期の確保業務」については、久野、早川、米神地区で4箇所約34haの契約を締結しました。

またハード面では小田原市から「小田原市いこいの森」のリニューアル計画に伴う溪畔林伐採業務や片付業務、さらに「辻村植物公園」、「こどもの森公園わんぱくらんど」、「久野霊園」等のカシノナガキクイムシによるナラ枯れ等の伐採片付業務を受注するとともに、久野神山神社等の建物等に支障となる樹木の伐採、枝降ろし等の業務依頼を数多く受け実施し、地域にも貢献しました。その売上げ金額は95,971千円でした。



ハーネスを使用した高所特殊伐採



学校木の空間づくりモデル事業

小田原市の「学校木の空間づくりモデル事業」として昨年度、豊川小学校の内装木質化が行われました。当組合が伐採・搬出した小田原市産の木材が使用されました。今年度は大窪小学校が予定されており、昨年度に丸太を搬出した大窪財産区の木材を使用する予定です。公共建築物での利用により、施設の環境改善効果、教育・啓発効果が見込まれます。地域産材の利用拡大により、地域の森林が整備・管理されていくことを伝えていきたいと思っております。

おしゃべり



イベント情報



きまつりの紹介

◎10月1日(土) 森と木に包まれる「きまつり」(予定)

小田原市、林青会(材木業、製材業を営む若手集団)、フォレストアドベンチャー、小田原市事業協会と共催にて今年も開催します。森林体験ツアー(森の仕組み～伐採体験・見学～製材所見学～木工教室)、その他内容盛りだくさん。

(注 チラシは昨年度のもの)

